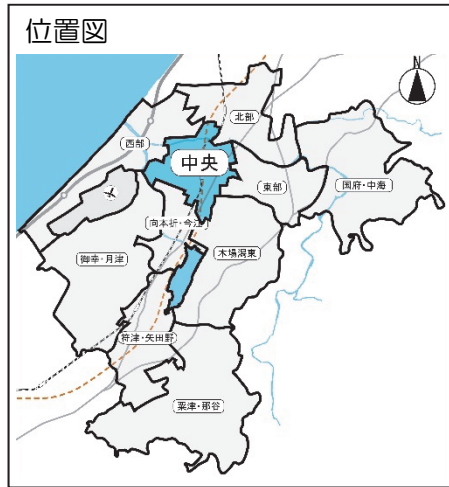


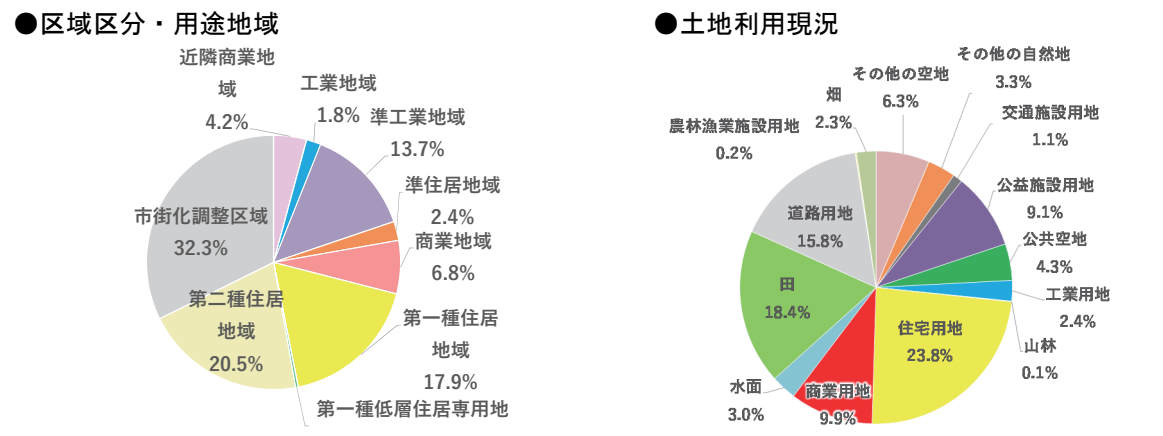
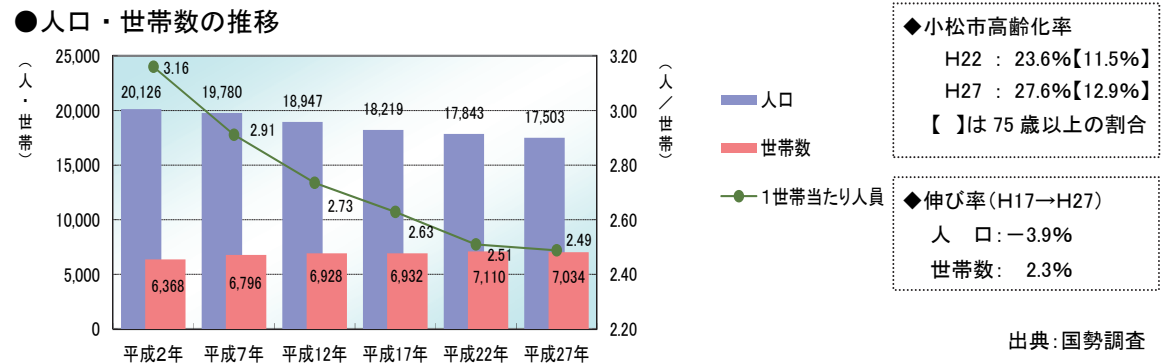
3 中央地域（稚松・芦城）

1. 地域の現況

- 本地域は、稚松校下（上牧、下牧町を除く）、芦城校下で形成される本市の中心部であり、商業・業務、文化・行政等の諸機能が集中している。
- 地域のほぼ中央をＪＲ北陸本線が走り、ＪＲ小松駅が立地しており、現在、新幹線駅舎の建設が進められている。また、東西方向には国道 360 号、東端には国道 305 号がそれぞれ通過している。
- ＪＲ小松駅付近連続立交差事業や駅東・西土地区画整理事業の実施により、ＪＲ小松駅周辺の一体的な都市基盤整備が進められた。
- 地域内は市街化区域が 7 割近くを占め、住居系、商業系、工業系の用途が占めている。
- 平成 27 年現在の人口は 17,503 人で、減少傾向にある。また、平成 22 年まで増加傾向にあった世帯数が、平成 27 年には 7,034 世帯と減少に転じている。

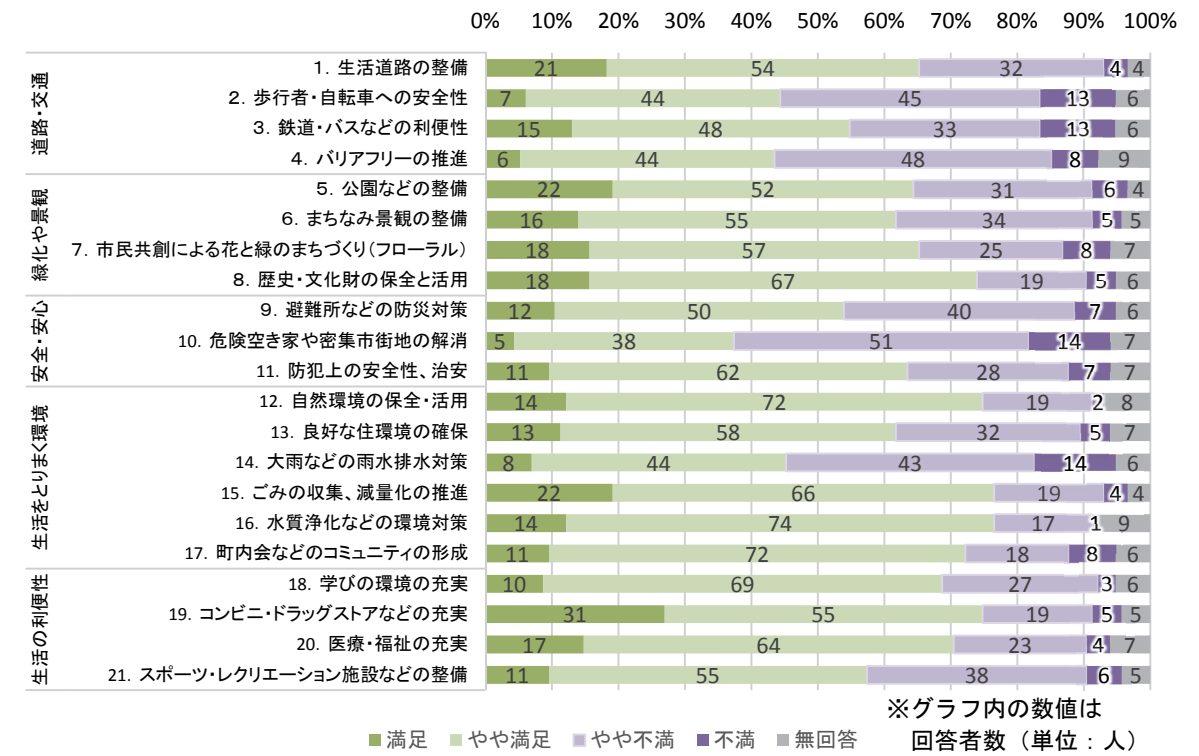


●基礎データ		都市計画区域内 に占める割合	都市計画区域内 の平均	備 考
面積 (ha)	733	6.0%		都市計画基礎調査値
人口 (人)	17,503	17.2%		H27国勢調査値
世帯数 (世帯)	7,034	19.2%		〃
人口密度 (人/ha)	23.88		11.10	
平均世帯員数 (人/世帯)	2.49		2.79	
高齢化率 (%)	26.5 【13.9】		23.0 【11.0】	H22国勢調査値
【 】は75歳以上の割合 (%)	28.6 【14.5】		27.0 【12.4】	H27国勢調査値

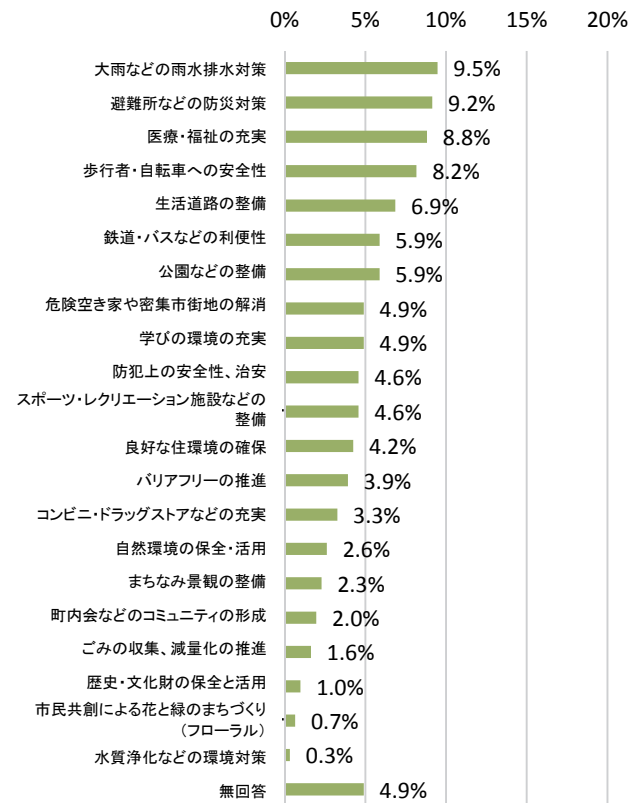


2. 住民意向調査結果（回答者数 115 人）

●生活環境の満足度



●さらに住みよくなるために重要なこと



●具体的なまちづくりの方策について

- ◇道路交通網の整備について重要だと思うこと
 - ▶ 身近な生活道路の整備
- ◇公園・広場の整備について重要だと思うこと
 - ▶ 身近な公園や広場の整備
- ◇まちなみ景観について重要だと思うこと
 - ▶ 無電柱化による景観の整備
- ◇防災対策について重要だと思うこと
 - ▶ 避難場所や備蓄倉庫などの充実
- ◇環境対策について重要だと思うこと
 - ▶ 豊かな緑や自然の保全
- ◇市街地の整備について重要だと思うこと
 - ▶ 空き地、空き家、空き店舗の対策
- ◇小松駅周辺の整備や取組について重要だと思うこと
 - ▶ 駅周辺のにぎわいづくり
- ◇まちづくりにおける市民の役割について
 - ▶ 自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと

3. 地域のまちづくりの方針

〔まちづくりの目標〕

南加賀の中心拠点にふさわしい魅力と快適性に恵まれた文化・芸術の香り高い躍動感あふれるまち

本地域は、小松市の中心市街地にあたり、JR 小松駅を中心に商業・業務、行政、交通等の諸機能が集積しており、2023 年の新幹線新駅開業により、南加賀地域の中心拠点として都市機能の集積が一層進むことが想定される。

また、本市の歴史的な面影を残す小松城跡、寺社、旧北国街道沿いの街並みに加えて「お旅まつり」など、有形無形の地域資源に恵まれている。

本地域のまちづくりにあたっては、様々な都市機能の集積による生活利便性を踏まえ、土地利用の効率化やまちなか定住促進のための環境整備、公共交通の活性化等を推進する。

また、北陸新幹線開業を控え、玄関口にふさわしい基盤整備や交流空間の整備、小松空港との連絡強化を推進し、多くの人が集い、賑わいと魅力のある都心空間の創出を図り、都市としての拠点性の向上を目指す。

さらに、既成住宅地においては、歴史的街並みの保全・継承に配慮しつつ、安心して安全に暮らすことができるよう、居住環境整備や防災基盤の整備を推進するものとする。



〔課題と主な整備方針〕

1

広域交通機能の充実と活用

- ・小松空港や小松 IC などの交通結節点へのアクセスの向上を図る。
- ・北陸新幹線開業に向けた駅舎整備広場の再整備、バス交通のサービス充実や公共交通への乗り換えなどの利便性の向上を図る。

3

こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備

- ・中心商店街、JR 小松駅周辺の商業機能、新市街地の広域商業施設は、それぞれの特性や役割分担を踏まえた活性化策の推進や、公共交通を利用した連携により、商業施設機能の強化を図る。
- ・JR 小松駅周辺は学びの拠点として、研究機関や教育、展示施設等の集積を促進する。

5

自然環境との共生、地域特性を活かした景観の創出

- ・町家などの歴史的資産を保全し、旧北国街道の歴史的な街並みが残る地域では重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指すとともに、街灯など街並みが映える修景整備を進める。
- ・JR 小松駅周辺は格調の高いシンボリックな都市景観の形成を図るとともに、多言語対応のサインによるおもてなしを進める。

7

多分野への ICT 化の促進

- ・ICT を活用したバス運行情報システムや交通ネットワーク機能の向上等により利便性・快適性を向上し、スマートな交通を実現する。
- ・公衆無線 LAN サービスの維持、向上により、医療・教育・展示・観光等での情報収集・発信しやすい環境を整備する。

2

暮らしや長寿社会への対応

- ・空き家・空き地の有効活用の促進により、都市機能の緩やかな誘導と暮らしの維持を図る。
- ・町家再生等による定住化促進、コンパクトな土地利用、公共交通のアクセス向上の推進により、若者、子育て世帯、高齢者など多世代が暮らす賑わいの創出を図る。
- ・鉄道やバスの利用の促進、歩きやすい環境整備を図る。

4

定住と交流の増大

- ・町家再生と市街地環境整備により、歴史文化資源の保全や歌舞伎等の町衆文化の継承、ものづくりのまちを発信し、定住や交流の増大を図る。
- ・公立小松大学末広キャンパス、小松運動公園周辺では、健康関連施設の充実、公園の更なる利用促進に向けた民間による施設整備、運用を促進する。

6

災害に強い安全な都市空間の形成

- ・住宅密集地では、安全な避難場所の確保、狭隘道路の改善、建築物の耐震化を促進する。
- ・調整池設置による流出低減や増補管の整備による雨水排水機能の向上等、総合治水対策を推進する。
- ・小松運動公園や芦城公園などの公園・緑地は、災害時の拠点施設としての機能を充実する。

8

オールこまつの『共創』の意識

- ・中心商店街と公立小松大学、こまつ市民大学等との連携により、地域を担う人材の育成を促進する。
- ・地域主体の花壇づくりなどの取組を推進する。

3. 中央地域の整備方針図（稚松、芦城）

南加賀の中心拠点にふさわしい魅力と快適性に
恵まれた文化・芸術の香り高い躍動感あふれるまち

JR小松駅周辺

1 北陸新幹線開業に向け、駅舎整備広場の再整備を実施するとともにバス交通のサービス充実や鉄道とバスの乗り換えなど、利便性の向上を図り、交通結節点機能の強化を図る。
また、JR高架下の有効活用により、駅利用者や周辺市街地の利便性向上、賑わい創出を図る。

17 交通ネットワーク機能の向上により小松駅と小松空港との連絡を強化する。



3 学びの拠点として、研究機関や教育・展示施設等の集積を図るとともに、こまつ市民大学による地域で活躍する人材の育成を進める。

5 小松の顔となる格調の高いシンボリックな都市景観形成を図るとともに多言語対応のサインの整備を進める。

地域整備の方針

- | | |
|---|--|
| 【住居系】 <ul style="list-style-type: none">職住近接型住宅ゾーン低層住宅ゾーン既成市街地住宅ゾーン居住誘導区域市街地近郊宅地化区域既存町内区域（地域コミュニティ維持・活性化） | 【産業系】 <ul style="list-style-type: none">商業業務地ゾーン沿道サービスゾーン工業専用ゾーン都市機能誘導区域 |
| 【農業・自然系】 <ul style="list-style-type: none">田園（農村集落）ゾーン森林ゾーン | 【その他】 <ul style="list-style-type: none">医療・健康増進・温泉・観光ゾーン新規土地活用ゾーン |
| 【道路】 <ul style="list-style-type: none">主要幹線道路幹線道路その他の道路 | 【避難場所】 <ul style="list-style-type: none">避難・救護拠点指定避難所機能強化指定避難所 |
| 【区分境界】 <ul style="list-style-type: none">地域区分境界 | <ul style="list-style-type: none">市街化区域界 |

小松運動公園など周辺

4 健康関連施設の充実を図るとともに、小松運動公園等の更なる利用促進に向け民間による施設整備、運用を促進する。

4 桜木体育館の改修により武道の拠点施設の強化、活用促進を図る。



梯川

4 梯川の河川改修を促進し、水害対策を図るとともに、梯川ボートハウス（こまつ水門パーク）やボート競技コースを整備するなど特色ある親水空間の整備を図る。

4 梯川分水路により浮島の宮となった小松天満宮から安宅海岸までの梯川沿線を活用したインフラツーリズムの推進や自然や眺望等の魅力が感じられる遊歩道等の整備を図る。



北国街道の歴史的な街並み（龍助町など）

5 重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指すとともに、街灯など街並みが映える修景整備を進める。



※番号は課題に対応

1: 広域交通機能の充実と活用 2: 暮らしや長寿社会への対応 3: こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備 4: 定住と交流の増大 5: 自然環境との共生、地域特性を活かした景観の創出 6: 災害に強い安全な都市空間の形成 7: 多分野へのICT化の促進 8: オールこまつ「咲創」の意識